

体験談レポート

ユーザー： M.Nさん(30代・男性) 福井県
商品名： ニュウモラップフーディ
テスト日時： 2009年10月12日
アクティビティ： トレイルランニング(ハセツネCUP)
テスト環境： 晴れ 23.8 (最高)/15.8 (最低)
当日のレイヤリング： ニュウモラップ、他社吸汗シャツ、フラッドラッシュスキンメッシュ



～レース中、自分が過酷な環境にいる事を
忘れてしまっていた～

今年初出場のハセツネ。スタート時は予想外に暑く、開会式で太陽が照ってくると、じっとしていても汗がにじんでできてしまう。そのため、スタートはフラッドラッシュスキンメッシュのノースリーブの上に半袖Tシャツにするが、それでも暑く感じてしまう。ただスタートして山の中に入ると徐々に涼しくなり、ランニングをしても心地のよい気温であった。17時過ぎにハセツネ名物のライト走行の準備に取り掛かる。ライトの準備で体を休めると稜線を抜ける風が体温を奪っていく。体温低下で体力を奪われるのは嫌なので、ここでスパイルフィルのロングを着る。これで随分暖かく感じられる。

さてレースは登りの正念場、最高峰の三頭山を19時に登りきる。山の頂上で空腹感を覚えたのでおにぎり1つを食べていると我慢が出来ないくらい寒い。ここで今回の最終兵器ニュウモラップを着る。着た感じは今までのウィンドブレーカーなどと比べるととても柔らかく感じられ、肌などに突っ張って体の動きを妨げるようなことはない。ニュウモラップの高い伸縮性を感じられる。もちろん風はしっかり防いでいるので暖かい。周りの人は寒い寒いと言っているのに、自分だけ特別なものに見守られている感じだ。レースを進めていくと、高い透湿性を証明するかのように汗がジャケットの中にこもることはない。そのため、寒さを感じることはレース中一度もなかった。重量も他のジャケットに比べ軽いいためか、着ても存在感が感じられない。自分が過酷な環境にいることを忘れてしまっていた。

さて、私の初参加のレースは12時間という目標を大きく下回り13時間オーバーでゴールした。レース中は体は常に悲鳴をあげていたけれど、ライトを着けているトレランという非日常を思う存分味わっていたため、精神的には常に前向きに最後まで楽しくゴールすることができた。「こんなに楽しいレースならもっと早くから参加しておけばよかった。」来年も参加したいものである。

